

## 一般社団法人 日本有病者歯科医療学会雑誌投稿規程

1. 本誌への投稿は原則として本会の会員であり、会費を納入済みであることを必要とする。
2. 本誌の欄は、有病者歯科医療に関する総説、原著（基礎研究・臨床研究）、症例報告、技術紹介、会員書簡、講演抄録、その他とする。
3. ヒトを対象とした論文はヘルシンキ宣言を遵守し「患者への説明と同意がなされている」旨を明記する。
4. 動物を対象とした内容については「実験動物に関する法律に則している」こと。
5. 利益相反については論文投稿時に本学会倫理委員会の定める「日本有病者歯科医療学会雑誌などの投稿論文に関わる利益相反（COI）自己申告書」（様式3）を貼付すること。  
なお、COIの有無については論文末尾の「引用文献」の前に以下の記載例にならって開示すること。
  - 1) COI 状態がない場合：「本論文に関して、開示すべき利益相反状態はない。」
  - 2) COI 状態がある場合：「本論文に関して、開示すべき利益相反状態はあり。」
6. 投稿原稿は他の雑誌に未発表のものに限る。
7. 掲載の採否は編集査読委員会で決定し、掲載は原則として受付順とする。
8. 投稿原稿の体裁は次の要領による。
  - 1) 原稿はワープロソフト（Microsoft 社の Word<sup>®</sup> など）を用い、文字フォントは 12 ポイントの大きさとし、原則として日本語は明朝体（全角文字）、英数字は Century もしくは Times New Roman（半角文字）とし、A4 判用紙 1 枚につき「1 行 26 文字× 30 行」の横書きとする。専門用語以外は常用漢字、新かな遣い、ひらがな、口語体を原則とする。句読点を使用せず、カンマとピリオドの記載を原則とする。  
専門用語は各学会発行の学術用語集、文部科学省編の学術用語集または日本医学会医学用語委員会編の医学用語辞典を基準とする。
  - 2) 外国の地名、人名などは原則として原語を使用する。
  - 3) 英文原稿の場合には外部に査読、校正を委嘱することがあるが、その費用は著者負担とする。
  - 4) 論文の構成は、表紙、標題（英文・和文）、抄録（英文・和文）、本文（緒言、対象・方法、結果、考察、結語、謝辞、利益相反（COI））、引用文献、写真・図の説明文、写真、図、表の順とする。  
和文原稿の場合は、400 語以内の英文抄録とそれに対応する和文抄録を、また英文原稿の場合は 800 字以内の和文抄録を添付する。
  - 5) 5 句以内のキーワード（英・和語）を抄録の末尾に記載する。

- 6) 数字はアラビア数字，度量衡の単位は c. g. s.単位を用いる
- 7) 論文には表紙をつけ，和文標題・著者名，英文標題・著者名，ランニングタイトル（20 字以内），和文所属機関名・所属機関の主任者名，英文所属機関名・所属機関の主任者名，希望別刷数・連絡先を明記する．なお，英文著者名，英文主任者名の表記は，姓（大文字）名（先頭のみ大文字）の順とする．
- 8) 本文は標題（英文・和文），ランニングタイトル（20 字以内）を第 1 頁として通し頁番号を原稿の下方中央に入れること．表紙，原稿作成後には PDF 形式に変換し投稿データとすること．なお，写真と図表は頁番号の記載を要しない．
- 9) 引用文献は引用順に右肩に番号をつけ，本文末尾に番号順に並べる．

[雑誌の場合]

著者名（英文は姓名の順とし，名は略名にする．2 名以内とし和文は「他」英文は「et al」と略記する．以下同様）：標題．雑誌名 巻：頁（最初の頁 - 最後の頁），年（西暦）．

例) 飯島美智子,篠塚 襄,他：一般歯科診療所の初診患者における有病率について．日有病歯誌 12: 7-13, 2003.

例) Yoda T, Sato T, et al: Long-term results of surgical therapy for masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia accompanied by limited mouth opening. Int J Oral Maxillofac Surg. 38(11): 1143-1147, 2009.

[書籍・単行本の場合]

著者名：書名．版数．頁（最初の頁 - 最後の頁），発行所，発行地，年（西暦）．

例) 塩田重利,富田喜内監修：最新口腔外科学.第 4 版,784-786 頁,医歯薬出版,東京,1999.

[分担執筆書籍の場合]

著者名：標題．編（監修）者名；書名．版数，書店名，発行地，発行年，頁（最初の頁 - 最後の頁）．

例) 今井裕，白川正順：有病者歯科医療とは．今井裕，岩淵博史監修；有病者歯科学．第 2 版，永末書店，京都，2021，2-9 頁．

例) Sato T, Yoda T: The correspondence of a palate caked with expectoration. Natsume N eds; Manual for oral care. Quintessence, Tokyo, 2011, 269-270.

[電子版掲載文献（オンラインジャーナル）の場合]

著者名：標題．掲載誌名 巻：頁，発行年．入手先．参照年月日．（注）「巻：頁，発行年，入手先」などの情報がない場合は記載不要．

例) Sato T, Enoki Y, et al: Donepezil prevents RANKL-induced bone loss via inhibition of osteoclast differentiation by downregulating acetylcholinesterase. Heliyon 1 (1): e00013 2015.

[Web サイト上の文献の場合]

著者名： 標題， Web サイトの名称， 巻：頁， 発行年， 入手先 URL， 参照年月日。

(注) 「著者名， 巻：引用頁， 発行年」などの情報がない場合は記載不要

例) (一社) 日本有病者歯科医療学会他編：抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン， 2020 年版：64-67， 2020. [https://minds.jcqh.or.jp/docs/glpdf/G0001242/4/Exdontia\\_in\\_patient\\_with\\_antithrombotic\\_treatment.pdf](https://minds.jcqh.or.jp/docs/glpdf/G0001242/4/Exdontia_in_patient_with_antithrombotic_treatment.pdf). 2022 年 6 月 6 日.

10) 論文の時制については原則として以下のようにする。

- ① 要旨 (Abstract) は過去形で記述する。
- ② 対象と方法， 結果 (Material and Methods, Results) は過去形で記述する。
- ③ 図表の説明文は現在形で記述する。
- ④ 計算や統計解析の結果は過去形で記述する。
- ⑤ すでに出版された科学論文からの引用は現在形で記述する。

11) 漢数字を含む名詞・形容詞・副詞などを除き， 数字はアラビア数字を用いる。(漢数字例) 一部分， 二次う蝕， 第三大白歯， 十二指腸， 十数回

12) 医薬品名の表記方法について

- ① 日本の医薬品として認可され販売されている医薬品名は一般カタカナ名 (JAN または INN) を用いる。  
( ) 内に略語を記し， 次回以降その略語を用いることができる。
- ② 未発売の薬品名は原則として英米綴りの一般名を用い， 普通名詞扱いとする。
- ③ 商品名の記載が必要ならば， 最初に一般名が書かれたときに， 括弧内に登録商標表示 R または ® で示す。

13) 年号表記は西暦とし， 単位記号は原則として国際単位系 (SI) を用い， 主なものは下記のとおりとする。なお， 本文， 図表， 英文・和文抄録では数値と単位の間には必ず半角スペースを入れる (°C と % を除く)。

例) m, cm, mm,  $\mu$ m, nm, cm<sup>2</sup>, L, mL, dL, kg, g, mg,  $\mu$ g, ng, mol, pmol, °C, % など。

9. 校正は初校のみを著者校正とし， 追加訂正や表・図・写真などの内容変更は原則認めない。

10. 採用原稿は特に希望する場合以外は返却しない。

11. 本誌に掲載された論文の著作権 (著作財産権 Copyright) は本学会に帰属する。

12. 投稿料および別刷の費用は当分の間著者の実費負担とする。

13. 個人情報保護のため， 初診日及び診療日などを記載することが必要でない判断された場合には×日などの日付の記載はしなくてもよい。

## 総説投稿規程

1. 原稿は和文のみとする。原稿の長さは刷上がり 10 頁以内（写真，図表，抄録を含む）とし，印刷費などは本学会の負担とする。
2. 総説は，本規程ならびに本誌投稿規程に準じること。
3. 総説の構成は，表紙，抄録，本文，引用文献，表，図，写真の順とする。
  - a) 冒頭は表紙とし，次の順序で各項を記載する。

和文標題，ランニングタイトル（略題 20 字以内），和文著者名，英文標題，英文著者名，和文所属（公式の名称を記入），所属機関の主任者名，英文所属・所属機関の主任者名，別刷希望数

\* 投稿票に必要事項を記載し添付すること。なお著者には別刷 50 部を贈呈する。
  - b) 400 字以内の英文抄録とそれに対応する和文抄録を添付し，5 語以内のキーワード（英・和語）を英文抄録の末尾に記入する。
4. 校正は原則として初稿を著者校正とする。
5. 総説の編集および掲載については編集査読委員会に一任されたい。
6. 本雑誌に掲載された論文の著作権（著作財産権，Copyright）は本学会に帰属する。

## 会員書簡 (Letter to the editor) 投稿規程

1. 著者は、日本有病者歯科医療学会会員に限る。会員書簡の内容は、本誌掲載論文または有病者歯科医療全般に関するものとする。
2. 原稿は和文とする。原稿の長さは刷上り1頁以内で、写真、図および表を含まないものとし、掲載料は一律10,000円を個人負担とする。ただし、編集査読委員会より依頼された際は印刷費については本学会の負担とする。
3. 会員書簡への回答文の掲載料は無料とする。
4. 会員書簡の構成は、表紙、本文、引用文献の順とする。
5. 会員書簡は、本規程ならびに本誌投稿規程に準じること。
6. 冒頭は表紙とし、標題、著者名、所属機関名の順に記載する。
7. 本誌掲載論文の内容に関する会員書簡の標題には、該当掲載論文名を明記し、以下に準じて記載する。  
例) 「飯島美智子,篠塚 襄,他：一般歯科診療所の初診患者における有病者率について。日有病歯誌 12: 7-13, 2003.」について
8. 引用文献は、投稿規程に準じて記載する。
9. 校正は原則として初稿を著者校正とする。
10. 投稿票に必要事項を記載し添付すること。また、別冊を希望する場合は著者負担とする。
11. 編集査読委員会は必要に応じて、当該論文の著者などに対し会員書簡への回答文を求めるものとする。会員書簡の採否および編集は本委員会に一任されたい。
12. 本雑誌に掲載された論文の著作権（著作財産権, Copyright）は本学会に帰属する。